



栄光の未来

R5.9.1

第10号

東翔祭に向けて、本格的に活動開始！

前期期末テストが終わり、次に向かうは9日（土）に開催される東翔祭です。今日から全体（チーム）練習がスタートしました。8日（金）までの期間で各チーム、そして全校での練習をしっかりと行い、当日を迎えましょう。



応援リーダーがチームを引っ張る！

昨年度までは、学校が保護者や地域の方を広くお迎えすることが困難な場合が多くありましたが、今年度は積極的に学校を地域に開き、保護者や地域の皆様に学校を迎え入れたいと考えています。生徒の皆さんの頑張る姿を生で参観いただくことが、大きな目的です。そして、それとともに、保護者や地域の皆様から参観いただくことで、皆さんの「やる気」がさらに高まり、質の高いパフォーマンスの発揮につながることを期待しています。

熱中症対策を講じて、安全・安心を確保！

夏の期間、特に今年のように猛暑となっている夏は、運動の実施について間違いのない判断をする必要があります。そのため、運動の可否を判断するにあたり、「暑さ指数（WBGT）」を指標として用いています。暑さ指数によって段階が5つに分かれ、それが判断の指標となります。



今年の夏は、連日のように気温が35°Cを超えました。そのせいもあり、気温にのみ注目しがちになりますが、熱中症リスクを判断する科学的な指標である「暑さ指数」に影響を与える要因は気温だけではありません。気温と湿度、輻射熱（日射しを浴びたときに受ける熱や、地面、建物、人体などから出ている熱）の3つが大きく影響し、特に大きく影響するのが「湿度」です。これらの数値をもとに暑さ指数を測定し、運動の可否を判断しています。

8月31日（木）14時
グラウンドの真ん中で

暑さ指数 (WBGT) = 1 : 7 : 2
 気温の影響 湿度の影響 輻射熱の影響

↓

湿度が高いと汗が蒸発しにくくなるため、体に熱がたまり、熱中症になりやすくなります。

指数 31°C以上は「危険」の段階。運動は原則中止！
指数 28°C以上は「嚴重警戒」。激しい運動を避ける。

直射日光を受けて、気温は38°Cまで上がりました。しかし、湿度が低いため暑さ指数は25°C。3番目の「警戒」レベルです。この夏よく耳にした「熱中症警戒アラート」は、暑さ指数の予測に基づいて出されています。

この他にも、体育着登校や水筒持参によるこまめな給水、屋内でのエアコンの適切な使用など、これまで継続的に行ってきたことに加え、夏休み明けからは、東翔祭で使用する帽子を早めに全校生徒に配付しました。体育の授業など、屋外での活動時にかぶることで、熱中症のリスクを下げています。



対策をしっかり講じることで、生徒の学習・活動を保障！